



【2018-04-25】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう

今週の雑感

『今年の賃上げは？』

長野修二

今年の賃上げは？

例年、今頃の季節は春闘が終わり、賃上げが決定されていますが、今年度も全産業平均で3%を超えておらず、日本経済新聞の1次集計では2.41%となっています。

しかし、一方で陸運や小売り業では大幅な賃上げがなされ、賃上げをけん引しているのが特徴でしょうか。

それにしても賃金は上昇しないものです。

この点は、以前にも書きましたが、大手企業を中心とした賃上げの限界を露呈しており、政府がまともに賃上げを考えるのであれば、経済同友会代表幹事の小林喜光氏やデイビット・アトキンソン氏が述べているように「最低賃金」を大幅に上げることが重要な政策となるでしょう。

しかし、このことは中小企業に大きなダメージを与えることにもなりかねず政府は及び腰です。

本来はこのような政策で賃金を上げると同時に、生産性が低い企業の淘汰をしていくべきプロセスに我が国はあるのですが、これには日本人的な感性においてそうそう簡単に踏み切れないのかもわかりません。

いつも先送りとなっていくようです。

今後も人手不足によってどこまで賃金が上昇していくかという市場任せの賃上げ期待が続くことになるでしょう。

その一方で外国人労働者による適法、違法な単純労働が労働力として巷にあふれているようにも見えます。

都内で買い物や食事をすれば、すぐに理解できるでしょうか。

さらに先週書きました非正規社員の待遇改善がどのような手順を踏んで実施されてくるかにもよりますが、少々時間がかかりますが、それでもいずれ賃上げに影響力をもつようになるでしょう。それにしても[単産](#)による春闘は毎年横並び賃上げの連続行事のようです。

ソニーのように産業別連合体に加盟していない企業では5%という大幅な賃上げを自社の経営職が決定しています。

本来、自社の支払い能力や将来の人材投資などの観点から自らの企業の賃金について決定するのが当たり前ですが、日本の場合、

単位労組（企業別組合）によって労働者自らが賃上げを抑制している現状もあるように考えられます。

また、経営職もこのような春闘に寄り添うことで自らの判断と責任を放棄しているかのように見えるのは、私だけでしょうか。

春闘は、毎年、まるで再放送のドラマをみているようです。

それでも企業の一部に経営者の判断で大幅な賃上げがなされたことは、横並びに風穴を開けていく要素になるでしょう。

しかし、それでも横並びというのは、この国の根深い特徴の一つでしょうか。

横並びにも良い面もありますが、すべてにおいて横並びが多いという現実の問題が内在しています。

その原因は、常に人（日本人）に起因しています。

なんとかならないかと、機会があるごとに挑戦しますが、強烈に跳ね返されてしまいます。

これが現実でしょうか。

私は好きにしてくださいと、高見の見物をしているしかありません。

とにかく自分を頑なに守るのが日本人なのでしょう。

冒険することが怖い人間の集合体が日本人なのかもわかりません。

今年の春闘は、人手不足という現実的な環境にもよりますが、それでも実際に冒険する企業がでてきたところに横並びを壊していく兆候がみえてきました。

非常によいことだと思います。

さらにそのことによって賃上げした企業の業績が向上してくれば、この先企業別の判断と決定によって個々に違いがある賃上げができるようになるはずです。

この意味では、人手不足という状況によって賃上げの潮目がみえてきた時代のようなようです。

今後の企業業績はこのような視点からみていくことも必要になるでしょう。

ソニーがおこなった5%の賃上げは、人件費における総原資が増加しますから一時的には業績に与える影響がないとはいえませんが、人材投資というのは、元々長期的な観点からおこなうものであり、一時的な業績悪化などで社員のリストラをおこなえば、当然ですが、将来的に新たな事業の創造などできなくなってしまいます。

アイボにみるロボット関連の技術など相当長期で研究開発を継続していく必要がある分野です。

そこに必要な人材がいなければ、これも当たり前ですが、そもそも事業になりません。

この意味で2000年代にリストラで失敗した経験を活かして、新たな人材投資の枠組みを構築しようとする試みは新たな挑戦をすることであり、人材を通してしか、ビジネスの創造がない以上、当たりの決断ではないでしょうか。

ソニーらしさが、少し戻ってきているようですが、継続的に企業の運営をみておく必要があります。

事業創造の答えは、常に「人」の中にしかありません。

その意味でも「人」に投資するのは、もっとも理屈にあった経営戦略です。

【2018年春闘データ】

[連合（要求集計・回答集計結果）](#)